

J H F 理事会議事録

日 時： 2011 年 4 月 19 日(火) 13:30~17:30

場 所： J H F 事務局会議室（豊島区巣鴨 3-39-4 東都ビル 2F）

1. 議長・議事録作成及び署名人指名

議長： 山口淳一 議事録署名人： 内田孝也 大沢豊

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】 内田孝也 市川 孝 大沢 豊 菊池守男
工藤修二 安田英二郎 山口淳一

【監事】 對馬和也

欠席（理事） 荒井健雄 城 涼一

（出席理事 7 名。今理事会は定足数を満たし成立した）

3. 理事・監事のひとこと

菊池副会長：4月に兵庫県連の理事会、総会に出て来ました。後で報告します。

内田会長：総理大臣から公益認定証を受け、4月1日に事務局が法務局へ公益社団法人への移行登記を済ませました。4月6日に東京海上日動から2011年度JHF総合保障制度の更改説明を受けました。制度委員会、選挙管理委員会で、役員選挙規約について、新しい定款での読み替え、またその先については来年の総会迄に成案が出来ればと検討を依頼しています。ハンググライダーの新潟事故の保険金支払い案内が来ました。保険会社との契約更新について重石になると思います。

大沢理事：震災の影響で板敷山スプリングフライトは中止になりましたが、エントリー費を義援金にしてくれる人が多くいました。4月末からの山形の大会は参加人数が少なくても元気になる為に開催しますので運営に行って来ます。

工藤理事：4月7日から沖縄へ行って飛んで来ました。

市川理事：4月1日に無事登記を完了し、次に文部科学省と内閣府に対しての作業をしてもらっています。総会の後は、文部科学省に総会資料をそのまま出せばよかったのですが、今度は形式が違う資料を毎年提出する必要があるため、その作業が大変になります。

對馬監事：新潟の事故に対する保険金については、どのように行なわれていたか経緯を教えてください。

議長（山口理事）：安田理事が遅れるそうですが、審議から始めます。

4. 審議事項

審議事項 4-1 2010 年事業報告案について

内田会長より事業報告案の説明があった。ポイントとしては、フライヤー会員数の減少は、会費値上げの影響であること。それに対し技能証発行数は対前年ではほぼ同じであり、新規で始めている人の減少ということではなさそうということ。収支の現状では、会費収入が会員数1,000人分減っており、3年会費だと14,500円なので1万円とすると1,000万円減るので、3年会員が減っているということで大きな変動要因とは捉えていない等を総会にて報告をすることで採決をした。

採決の結果、【賛成5 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 市川、内田、大沢、菊池、工藤

審議事項4-2 2011年通常総会議事・議題について

内田会長：今回の総会からは、審議事項ではなく目的事項と言います。報告事項と決議事項です。決議事項は、決算の中の貸借対照表および損益計算書の承認と、役員選任になります。目的事項の順番の案と、総会の4週間前・5月17日迄を目途として詳細資料も含め正会員へ文書で渡しますので、それについての議決になります。順番として、決議事項をいつするか。

市川理事：決算については、事業報告をした次の項目で説明しないと分かり難いので、予算に対してどの位お金を使ったかの説明にウェイトを置いて、実際に役所への提出資料はこういう形になります、合わせてご承認くださいという形でよいと思います。

議長（山口理事）：では、事業報告、決算報告、貸借対照表及び損益計算書の承認の決議事項、事業計画、予算報告の後に、役員選任の決議として、正会員へ送ることで議決します。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 市川、内田、大沢、菊池、工藤、安田（4-2 審議より出席）

審議事項4-3 委員の選任について

ハングパラ振興委員会（定員5名・現委員3名）に応募があり、補充選任を採決した。

応募者 小島章弘（神奈川県）

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 市川、内田、大沢、菊池、工藤、安田

5. 協議事項

5-1 2011年度予算・普及活動費の使途及び支給査定基準について

菊池副会長：2011年度予算書で200万円の普及活動費が承認されています。この中から各県連で行なっている体験会等に補助を内容に応じて承認して支払ってあげたいと思います。各県連主催やスクール主催で県連が推薦する普及活動、自治体からの要望されたもの等に、予算に応じて予め理事会に申請を出してもらおう形です。

工藤理事：普及活動としては、アキュラシーのトーイングのイベント等も、都内のイベントとして将来性があると思います。

内田会長：JHFでパラ、ハングのアピールビデオを作り著作権を持ってDVDにして配る等も普及活動です。宣伝に繋がるようなことをやろうとしていましたので、体験会等への助成でよいのか。やるのであれば、時期を決めて普及活動の募集をかけ、基準が合致するものについて半額まで出すのはいかがでしょうか。正会員にとっては、今年を出たけど来年は分からないという継続がないのは難しいかも知れません。

山口理事：体験会だけでなく、普及活動は何かというのを聞いて企画をもらってもよいのでは。

安田理事：JHFの予算から県連普及活動にいくら出すか枠を先に決めて、金額の上限と、掛かった費用の2分の1の上限ということで、小額でも控えめな所から始めたらいかがでしょうか。

大沢理事：県連普及活動費として100万円を上限として、1県連5万円。

内田会長：公益目的事業としては、助成ではなく、事業が決まり実施するのであれば共催とし、協賛する費用をJHFが半額、上限5万円払いますという扱いになります。基準も含め文書案を作り、案内を出しましょう。

5-2 安田理事からの提案について

安田理事が青森県連の総会に行き、講習会も含めた報告と提案の中で、東北の方々からの意見や要望等を元に協議しました。

- ・ JHFサイトへ震災復興に向けたメッセージを掲載した
- ・ 震災復興のための缶バッジをJHF経費で作成、売り上げは全額を義援金として寄付する
- ・ 震災復興応援パラグライダー大会の開催については検討していく
- ・ パラグライダー基礎技術選手権について 技術選について、教本のサブテキストとして教本技術教材DVDの作成について検討する
- ・ XCの基準について 技能証規程はIPPI（国際基準）に合わせている

6. 報告事項

下記それぞれ以下のとおり報告された。

- 6.1 兵庫県連総会出席報告（菊池副会長）
- 6.2 （財）日本航空協会からの申し入れ
- 6.3 2011年度 JHF 総合保障制度
- 6.4 予算収支：進捗管理表
- 6.5 現金・預金・郵便振替残高明細
- 6.6 フライヤー会員登録・技能証発行実績

この議事録が事実と相違ないことを確認し署名捺印する。

議長

(山口淳一)

署名人

(内田孝也)

署名人

(大沢 豊)

議事録作成人：桜井加代子